

地質ニュース

第659号 2009年7月

目 録

熊本市沖有明海の音波探査風景

- 塩屋 藤彦・秋元 和實・島崎 英行・七山 太・1
緑川沖で採取した柱状試料(K1)の堆積物性値とアサリ遺骸の出現層準
七山 太・秋元 和實・須藤 雄介・2

熊本市沖有明海の底質変化とアサリ漁獲量の増減との関係 秋元 和實
七山 太・塩屋 藤彦・安間 恵・須藤 雄介・島崎 英行・滝川 清・4

縄文時代の環境, その1 -縄文人の生活と気候変動- 川幡 穂高・11

砂と砂浜の地域誌(19) -庄内・鳥海の砂と砂浜- 須藤 定久・有田 正史・21

北部フォッサ・マグナのろう石鉱床(1)

長野県梵天山ろう石鉱床 -ろう感のないろう石産出の意味- 須藤 定久・32

地質分野2008年冬の話「オーストラリアにおける層序区分の改訂例や

1900年パリIGCの記録など」-英文ニュース誌から拾う- 高橋 裕平・45

APEC研修コース「都市と沿岸域における防災」を実施して

森田 澄人・鈴木祐一郎・高田 亮・53

地質情報展2007北海道 体験コーナー -自分だけの化石レプリカを作ろう!!-

中島 礼・利光 誠一・中澤 努・坂野 靖行・60

つくば科学フェスティバル2007および2008参加報告 利光 誠一・兼子 尚知

澤田 結基・兼子 紗知・古谷美智明・吉田 朋弘・宮内 涉

宮地 良典・目代 邦康・井川 敏恵・谷田部信郎・国友 良樹・青木 正博・63

2008年産総研九州センター 一般公開「移動地質標本館」出展報告

吉田 朋弘・宮地 良典・古谷美智明・兼子 紗知・67

つくば産業フェアの産総研ブース内に「移動地質標本館」を出展しました

吉田 朋弘・酒井 彰・68

新刊紹介 井上公夫著(2009) シリーズ繰り返す自然災害を知る・防ぐ 第5巻

噴火の土砂洪水災害 -天明の浅間焼けと鎌原土石なだれ- 小松原 琢・69


お知らせ 地質調査総合センター関連の2009年スケジュール 70

編集後記 71

表 紙

宇土半島御興来海岸のリズミックバー: 2009年3月4日の干潮時に撮影。御興来海岸の潮間帯では、4m以上の潮差と季節風の影響によって、美しいリズミックバーとベッドフォームが形成されている。“おみしき”の地名は、4世紀中頃、景行天皇が九州遠征をされた際、干潟模様の美しさに見とれて御興(天皇の乗られるかご)を止めて休まれた地に由来すると地元では言い伝えられている。砂質干潟の沖合では有明ノリの養殖が盛んに行われている。

(写真と文: 七山 太¹⁾・秋元和實²⁾ 1)産総研 地質情報研究部門 2)熊本大学 沿岸域環境科学教育研究センター)

 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

Geological Survey of Japan / AIST

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3746

<http://www.gsj.jp/>